



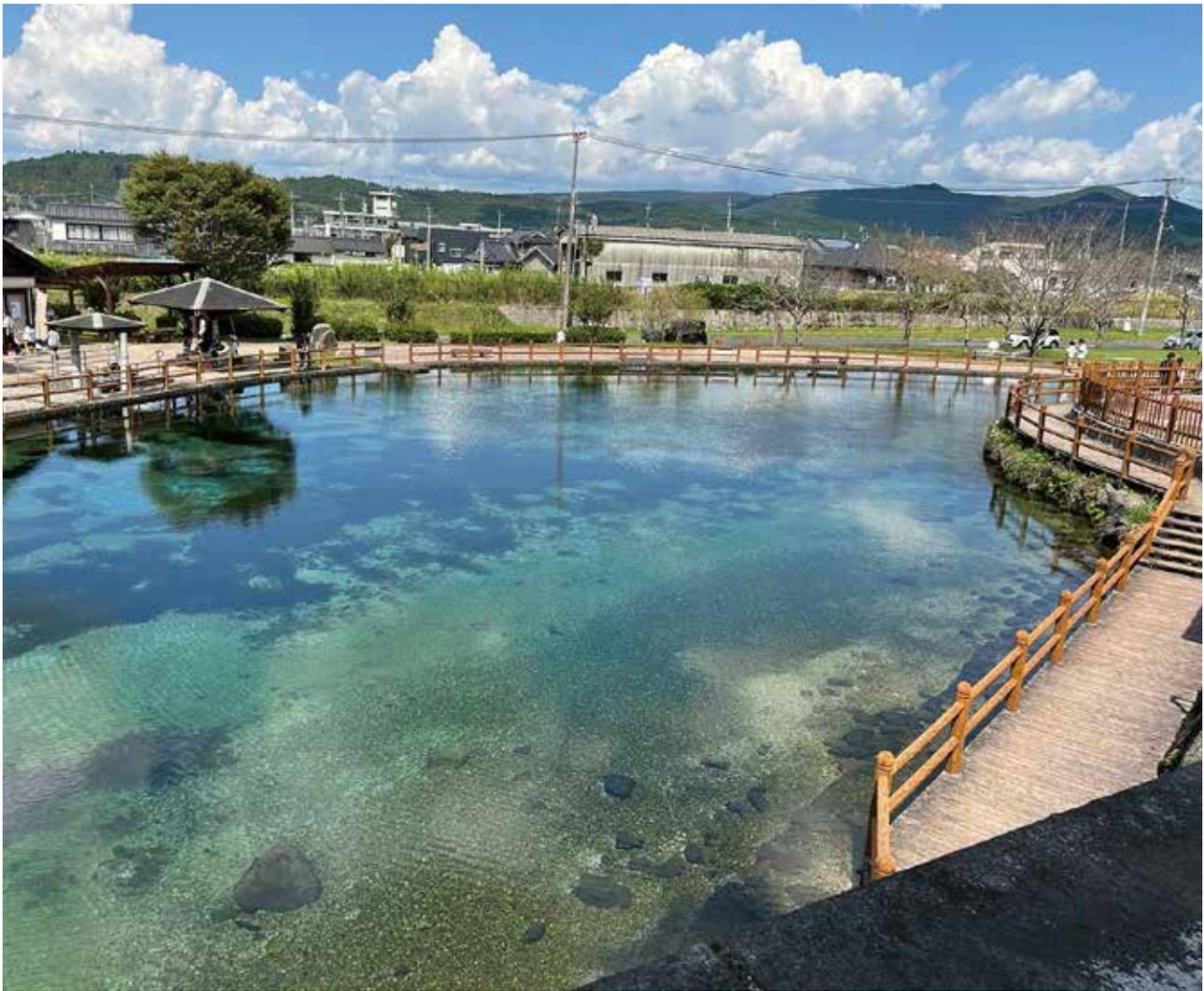
公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.104 (143)

2024. 12. 2

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 原口拓人
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL 099 (203) 0860
FAX 099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員 2,594名 (10/15現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



丸池公園 (湧水町)

目次

研修会報告 生涯学習部より	2	研修会報告 西薩地区より	9
研修会報告 スポーツ事業部より	3	研修会報告 南薩地区より	10
研修会報告 学術部より	4	親善野球大会サポートメンバーとしての所感 ..	11
研修会報告 鹿児島地区より	5	高齢者事業部 公開講座 実践報告	12
研修会報告 奄美地区より	6	私と私の職場	13
研修会報告 始良地区より	7	私のおすすめ	14
研修会報告 大隅地区より	8	事務局だより・編集後記	15

研修会報告（生涯学習部より）

R6年度 後期研修「C」県士会オリジナル講習会を開催しました。

生涯学習担当理事 神田 勝利
部長 横山 尚宏

8月25日と9月29日で後期研修「C」県士会オリジナル講習会を開催しました。

8月25日午前3時間「C-4」病期別理学療法学④（福森 愛美 先生：霧島杉安病院）、午後3時間「C-1」神経系理学療法学④（遠藤 美穂 先生：徳田脳神経外科病院）、9月29日午前3時間「C-2」運動器系理学療法学④（小牧 美歌子 先生：馬場病院）、午後3時間「C-3」内部障害系理学療法学④（菅原 直美 先生：天陽会中央病院）以上4名の先生にご登壇いただきました。

今年度は県士会オリジナルを初めて開講いたしました。若手の先生方に対して、それぞれの分野における「知識」だけではなく、「実技」をふまえた演習を受講されることで、すぐに実践できる「技能」も身に付けていただきたいと思ったところから計画いたしました。講習会に参加される先生方の向上心に対して、少しでもお役に立てたら幸いです。また、すべての分野において、講師には【女性】を依頼しました。世界の理学療法士では女性の比率が男性よりも高く、女性が活躍しています。そのため、認定理学療法士を取得され、県内でも最前線でご活躍されている先生方にご講演いただきました。県内や日本において、今よりもさらに女性の活躍にスポットが当たることと思います。

今後も先生方に臨床現場に還元できるような講習会を開催していきますので、日程調整のうえ、ぜひご参加いただけたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



福森先生



遠藤先生



小牧先生



菅原先生

各先生方の講義風景

研修会報告（スポーツ事業部より）

鹿児島県警コンディショニング術事前研修会のご報告

スポーツ事業部担当理事 大 渡 昭 彦
部長 轟 原 与 織
部長 松 田 史 代

令和6年10月20日（日）に今村総合病院スポーツ整形外科の轟原 与織先生にお願いしまして、「鹿児島県警コンディショニング術事前研修会」というテーマで、鹿児島大学医学部保健学科運動療法実習室にて行いました。この事業は、今年度初めての取り組みで、鹿児島県警察本部より依頼がありコンディショニング術研修会として、柔道・剣道・逮捕術における傷害予防のコンディショニング術研修会を行うことになり、際しまして、協力者および希望者での事前研修会を実施しました。

事前申し込み者18名、全員が参加し、剣道・柔道・逮捕術の競技特性、外傷の特徴と対応、疾患別コンディショニング（肩関節反復性脱臼・膝内側側副靭帯損傷・アキレス腱断裂）および対応したテーピング実技を実施しました。

180分と限られた時間内でしたがフィジカルチェックなどの実技も多く取り入れた研修会の内容となっており、あっという間の180分でした。テーピングでは自宅学習もできるように動画紹介もあり、この事業のみならず広く理学療法士としての活動に活かされる研修会でした。

鹿児島県下9地区（鹿児島市2地区、枕崎、南さつま、いちき串木野、出水、伊佐湧水、曾於、肝付）の警察署で実施予定です。

理学療法士の職域拡大、認知度向上などに繋がる活動になればと思っております。

講師の先生方、よろしくお願いいたします。

また、スポーツ事業部では鹿児島県高校野球連盟の委託事業として、高校野球児の肩肘検診を今年度も実施予定です。このニュースレターが発行される際には鹿児島市地区の協力者の募集は終了していますが、今年度は奄美大島地区でも1月12日に実施予定です（12月22日（日）まで協力者の受付中、詳細は県士会ホームページをご確認ください）。

2024年の佐賀県でありました国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会も無事に終了しました。鹿児島県選手団に理学療法士の帯同もあり活躍の場も広がりつつあります。来年度以降、スポーツの場により特化した実技研修会を企画しております。より多くの方に引き続きご支援・ご参加を賜りますようお願い申し上げます。



研修会報告（学術研修部より）

学術研修部担当理事 白尾麻美
部長 福森愛美

○ 鹿児島県理学療法士協会 令和6年度第3回学術研修部研修会

タイトル：がん理学療法 ー退院支援，在宅支援，就労支援のための基本的な関わり方ー

講師：高倉 保幸 先生（埼玉医科大学）

会場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟503講義室

日時：2024年10月5日（土） 13：00～ 6：10

2024年10月6日（日） 9：30～12：40

現地参加者：20名

令和6年度第3回学術研修部研修会を上記の通り開催いたしました。今回は講師の高倉先生のご厚意で学生参加を認めて頂き、グループディスカッションを交えた形式での研修会となりました。

歴史的背景も踏まえたがんリハの基礎知識から始まり、重点課題については事例紹介を通じて幅広い知見を得ることができました。用手的リンパドレナージの実演も含めて分かりやすい用語で解説して頂き、大変充実した内容となりました。参加者からの質問も多く、先生が一つ一つの質問に対し真摯に向き合う姿が印象的でした。

今年度の研修会は残り2回の予定となっております。現地開催およびオンデマンド配信での開催を予定しています。オンデマンド配信は事情により配信できない場合がありますので、ご了承ください。

お申込み、受付にはJPTAアプリが必要ですので、事前にご確認をお願いいたします。



研修会報告（鹿児島地区より）

鹿児島地区担当理事 東 幸 太
鹿児島地区担当理事 岩 森 俊
鹿児島地区長（南部） 川 元 大 輔

○ 第2回鹿児島地区研修会報告

令和6年10月4日（金）18：30より、鹿児島医療技術専門学校にて、第2回 鹿児島地区研修会を開催いたしました。

講師には、厚地リハビリテーション病院 河野 綾乃 先生（脳卒中認定理学療法士）を迎え、「高次脳機能障害に対する理学療法の関わり方～半側空間無視～」について研修会が行われました。

研修会では、半側空間無視のタイプ別に分けた責任病巣や空間領域の分類に分けた評価、理学療法アプローチについて、エビデンスも含め説明して頂きました。その後、半側空間無視を呈した患者様への身体的特徴を踏まえ、座位保持や立ち上がり改善に向けたハンドリングの実技を教えて頂きました。参加者の皆様は、講師のハンドリングを体験したり、誘導方向を確認したりと積極的に参加されていました。

今後も会員の皆様の臨床に活かせる研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくお願致します。第2回鹿児島地区研修会参加者は20名でした。



研修会報告（奄美地区より）

奄美地区長 奄美市笠利国民健康保険診療所
當 田 直 哉

○ 第1回奄美地区研修会報告

2024年度の第1回奄美地区研修会を令和6年9月28日に、対面方式にて行わせて頂きました。

講師は、クオラリハビリテーション病院 鈴木 伸洋 先生（脳卒中認定理学療法士）（ボバースアプローチ国際認定基礎講習会インストラクター）に、『脳の機能解剖と歩行のハンドリング』というテーマで講義と実技をして頂きました。

研修会の内容としては、鈴木先生が、ボバースコンセプトを基に、分かりやすい言葉で講義して頂き、参加者も親しみやすかったのではないかと思います。実技では、評価から治療展開、治療戦略の解説もして下さり内容の濃い時間となったと思います。実技において、足部内在筋の促通にたいして明らかな身体反応（神経の発火反応）を実際に目の当たりにする事ができ、被験者も治療前後で大きな変化が生まれたのも感動しました。また、鈴木先生が患者様と対話する姿勢がとても穏やかで丁寧であり、患者様に真摯に向き合っている様も改めて大切なことと感ずることになりました。



奄美地区では令和7年2月1日に、今村総合病院スポーツ整形外科リハセンター 白尾 泰宏 先生をお迎えして、第2回研修会『徒手理学療法 臨床推論と膝関節の触診・評価・治療』を予定しております。

私たち理学療法士の権利や質の担保のために協会はあるものと考えています。会員の皆様に何が提供できるか模索して、より良い研修会や症例検討会を提供していけたらと思います。今後とも、奄美地区協会運営にご理解ご協力いただけたら幸いです。

研修会報告（始良地区より）

始良地区担当理事 神田 勝利
始良地区長 福榮 竜也

○ 令和6年 第1回 始良地区症例検討会の開催報告

日時：令和6年11月1日（金）19：00～20：30 Web開催（ZOOM）

聴講者：80名

演題①：『心機能への理学療法と運動療法～心房細動を認めた初発心不全患者の1例』

発表者：霧島市立医師会医療センター 福元 勇輝 先生

座長：国分生協病院 吉野 徹 先生

カリキュラムコード：E-3 内部障害系理学療法学 1/3ポイント

演題②：『右人工関節単顆置換術を先行した1症例』

発表者：クオラリハビリテーション病院あいら 木原 祥貴 先生

座長：霧島市立医師会医療センター 浜崎 裕大 先生

カリキュラムコード：E-2 運動機能障害系理学療法学 1/3ポイント

概要

令和6年第1回始良地区症例検討会を11月1日にWeb開催いたしました。聴講者は始良地区以外も含め、80名の会員の皆様にご参加いただきました。今回の症例検討会では、2名の先生に発表して頂き、内部障害系、運動機能障害系と大変貴重な内容でした。認定理学療法士の先生を座長に選出させて頂いた為、専門的な意見を数多く聞くことができ、有意義なディスカッションができたと考えております。日々の臨床に生きる症例検討会になりました。

今後の予定として第2回症例検討会を令和7年2月に予定しています。随時発表者を募集しております。活発的なディスカッションが行えるように運営を引き続き行っていきます。多くの会員の応募をお待ちしています。



研修会報告（大隅地区より）

大隅地区担当理事 榎 畑 純 二

大隅地区長 永 濱 良 太

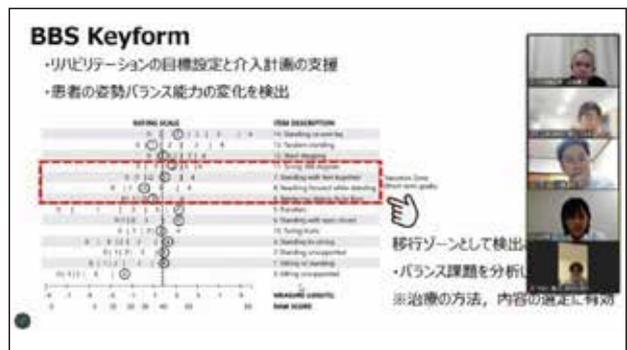
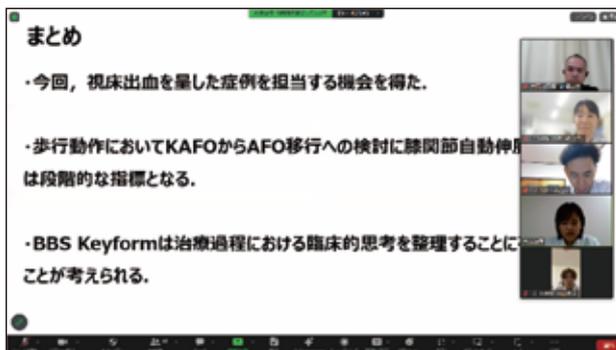
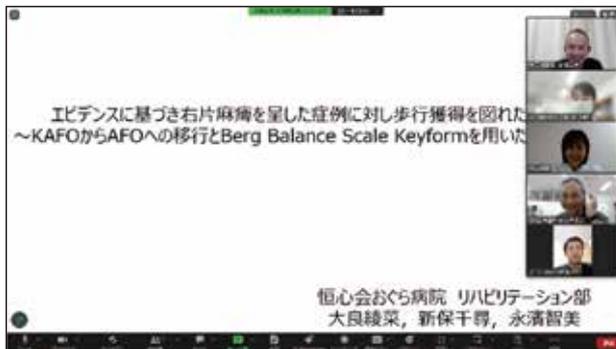
○ 令和6年度 大隅地区症例検討会報告

2024年度の大隅地区症例検討会を10月31日にオンラインにて開催いたしました。

今回、恒心会おぐら病院 大良彩菜PTより「ビデンスに基づきKAFOからAFOへの意向を図れた右片麻痺の一症例 ～Berg Balance Scale Keyformを用いた歩行自立へ向けた理学療法～」の発表をしていただきました。

BBS Keyform は、患者の能力レベルに応じたリハビリテーションの課題を設定するためのツールであり、特定の課題がどの程度難易度が高いかを明確にし、これにより、患者ごとに最適な課題を選択し、効果的な介入計画を立てることができるというものでした。一本杖歩行獲得を目的に、症例に必要なバランス課題を明確にし、臨床思考過程が取りやすいとのことでした。まだ、発表件数も多くないようで、聴講者からも多くの質問がありました。

今回の参加者は48名でした。



研修会・症例検討会報告（西薩地区より）

西薩地区担当理事 山 中 純
西薩地区長 大久保 鉄 男

○ 令和6年 西薩地区第1回研修会報告

今年度より発足しました西薩地区の第1回研修会・症例検討会を10月18日にオンラインにて開催しました。研修会は、「肩関節の理学療法～アライメント異常に着眼した評価と治療～」をテーマとし、馬場病院の松元 亮太 先生にご講演頂きました。参加者は西薩地区内外から48名の先生方にご参加いただきました。

肩関節の理学療法は複雑で困難なケースを臨床で経験することも少なくありません。今回、肩甲上腕関節のアライメント異常となる原因を考察し、評価、治療の目的、手順と臨床に即した内容を分かりやすく、丁寧にご説明頂きました。ご参加いただきました先生方の臨床に生かして頂ける有意義な内容でした。

症例検討会は1症例の発表でした。43名の先生方にご参加いただき、質問、助言等もあり、こちらも有意義な時間となりました。

今後、西薩地区では会員の先生方に有益な研修会を開催して参ります。宜しくお願い致します。



研修会・症例検討会報告（南薩地区より）

南薩地区担当理事 山 中 純
南薩地区長 木 場 涼 介

○ 令和6年度 第1回南薩地区研修会および症例検討会報告

令和6年9月28日（土）18:30より、第1回南薩地区研修会を菊野病院 通所リハビリテーションひかりで、久しぶりの対面形式にて開催いたしました。講師は医療法人菊野会 菊野病院の 谷口孝平 先生によります「臨床で知っておきたい、基本的な肩関節の理学療法評価 ～エコーを用いてより分かりやすく～」というテーマで90分間にわたってお話いただきました。内容としまして、肩関節の基礎的な解剖から、エコーを用いての観察方法、実際にどのように評価し、どのようにアプローチしているのかを実技を交えてわかりやすくご講義いただきました。90分間では物足りないくらいの内容で、受講者の先生方も積極的にご参加いただきました。ありがとうございました。



その後、20:10より、第1回症例検討会として、医療法人菊野会 菊野病院の 三原 綾紗 先生によります「広範囲腱板断裂と変形性肩関節症を呈し、更衣動作困難となった症例 ～肩屈曲制限に着目して～」と題して報告が行われました。こちらもそのまま対面形式で行われました。発表では、腱板損傷を呈した患者様へ関節可動域制限に着目してアプローチを行ったが、難渋した症例として発表されました。肩関節の研修会後の関連する症例検討会で、聴講者の先生方もさらに興味をもって参加され、活発な質疑応答が行われました。

最後に、久しぶりの対面での研修会、症例検討会となり、実技研修も含めて、やはりたくさんの刺激につながったかと思います。ご参加いただきました先生方、症例検討会の座長を務めてくださいました指宿浩然会病院の 前畠 雅彦 先生ありがとうございました。



第61回 各県議会議員親善野球大会

～大会サポートメンバーとしての所感～

春陽会中央病院 加藤 正規

令和6年5月11日(土)に伊集院総合運動公園野球場と中村商会スタジアム(湯之元球場)の2会場にて第61回各県議会議員親善野球大会が開催され、私たち4名は大会サポートメンバーとして参加いたしました。今回の野球大会が開催されるにあたり、5月1日(水)には鹿児島県議会議員と私たち理学療法士の県選抜メンバーとの壮行試合も行われ、士気を高められていました。さて、大会はそれぞれの球場に2名ずつ分かれ、計6試合にサポートさせていただきました。サポート内容につきましてはアイシングやテーピング、ストレッチを基本とし、看護師と協力して搬送等の臨機応変な対応も含まれておりました。実際の対応として、アイシング対応を14件(鹿児島1件、大分3件、宮崎10件)、テーピング対応を2件(宮崎)、集団ストレッチを1件(宮崎)、個別ストレッチを2件(福岡、熊本)実施いたしました。

所感として、宮崎県議会議員につきましては第1試合後に集団ストレッチを実施することができ、その際の接点がアイシング等の依頼に繋がったのではないかと感じております。また、福岡県議会議員に理学療法士が1名おり、ストレッチの重要性を認識していただいていたことから、個別にストレッチ依頼に繋がったと感じています。今回、実際にハムストリングの肉離れ疑いの方のテーピング対応では試合前の為、応急処置として筋の補強を行い、試合に出場されました。テーピングを使用することで怪我に対する不安感の軽減に繋がっていたと感じる一例でした。

最後に県議会議員の方々の身体機能レベルは様々であり、身体的情報のない状態でサポートさせていただきましたが、集団ストレッチが行えるとその際に機能評価が行なえるのではないかと感じました。私たちは疾病予防のためのストレッチ指導の普及に加え、個別に機能的な問題に対するアドバイス等を行える力があるため、その点をアピールできたらと感じました。これからも理学療法士が様々な分野でのスポーツ大会のサポートメンバーに必要と感じていただけるよう日々励みたいと思います。



高齢者事業部 公開講座 実践報告

職能局 理事 福田 秀文
職能局 理事 福永 裕樹
高齢者事業部 部長 阿多 昌幸

令和6年9月29日に、公開講座「現場で使える！身体に優しい介護技術のコツをつかみ、楽々介護を実践しよう」を、今年度から（旧）公益事業部より引き継ぐ形で県民交流センター大ホールにて開催いたしました。当日は、24名の参加者に加え、3名の公募スタッフと6名の公益事業部・高齢者事業部のスタッフが参加し、充実した研修となりました。

講座は「職場における腰痛対策」「起居・移乗動作」「福祉用具を用いた移乗」の3部構成で実施しました。介護・看護現場における腰痛対策については、講義と実技を通じて、作業環境管理や自己健康管理も含めた理解を深めました。また、起居・移乗動作および福祉用具を活用した移乗の演習では、参加者を4つのグループに分け、各ベッドに高齢者事業部スタッフと公募スタッフを配置し2名1組の体制で実施しました。さらに、講座開催前には公募スタッフへの実技指導も行い、アシスタントとしての準備も整えました。

参加者アンケートの結果、全体的に好評をいただき、特に「現場で取り入れてみたい」という意見が多く寄せられ、実践的な講座ができたと評価しております。しかし、「時間が足りなかった」という課題も指摘され、今後は会場運営体制やスタッフの配置、講義内容の改善に取り組んでまいります。

今後も、高齢者事業部として地域社会に貢献できるよう尽力してまいります。ともに活動していただける方を募集しておりますので、どうぞご参加ください。引き続き、高齢者事業部をよろしくお願い申し上げます。

参加者の声（アンケートより一部抜粋）

- ・説明がわかりやすく良かったです
- ・とても充実した時間でした。現場で使えるものばかりでした。実技の時間をもう少し長くとれたら良かったです。
- ・訪問看護師をしており、在宅で1人での介助（全介助者）、移乗など悩む場面があったので参加させていただきましたが、適応できる部分もあったので今後につなげていきたいと思いました。
- ・今回は、資料がすごくわかりやすくすぐに持ちかえって実践したいと思います。
- ・実技があり、とてもわかりやすかったです。研修会で学んだことを業務に生かしていきたいです。
- ・福祉用具の使い方がよくわかり良かったです。
- ・施設での腰痛予防にとり入れたいと思います。とても良い研修でした。



私と私の職場

鹿児島赤十字病院

東 直 人

2024年も終わりが近づき、地域医療構想に向け、私たち理学療法士の活躍に期待がかけられた年を迎えようとしています。さて、今回は、私が勤務しております鹿児島赤十字病院について紹介させていただきます。

当院は、鹿児島市平川町の海沿いに立地しています。東は錦江湾、南は平川ヨットハーバーを臨み、入院病棟からは桜島を一望することもできます。大正12年（1923年）に結核療養所海濱院を日本赤十字社が引き継ぐ形で結核医療事業を開始したのが当院の始まりとされ、昨年で開設100年を迎えました。昭和57年（1982年）にリウマチ膠原病センターを開設、リウマチ教室・検診に始まり、全国に先駆けてリウマチ性疾患に対する専門的な医療事業を行ってまいりました。リハビリテーション部門は昭和58年に開設され、リウマチ患者様を対象とした運動療法、生活指導が実施されてまいりました。平成2年に整形外科が開設、整形外科的な関節治療が開始され、近年では、生物学的製剤の導入により、リウマチの診療も大きく変化をとげ、外来診療での化学療法への移行、在院期間の短縮に対し、当院での理学療法士の関わりも短期的へと変化してきていると感じます。

リハビリテーション科部は現在、理学療法士9名、作業療法士8名、言語聴覚士1名、リハビリ助手1名が勤務しています。主な理学療法の対象疾患としては、リウマチ性疾患、内科的疾患をはじめ、脊椎外科、関節外科（人工関節置換術、手の外科など）を中心に年間400件近くの手術実績があり、術後の理学療法、その他、運動器疾患に対する理学療法を中心に実施しております。また、令和3年より、多職種と共同でフットケア外来を開設しており、関節リウマチ他、足部の変形による疼痛を有した患者様を対象として、装具の作製、靴のご紹介などを実施しています。

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の2類から5類への変更を機に病棟転換、病床再編を進め、同年12月より新たに地域包括ケア病棟を開設、2病棟80床一般急性期、1病棟40床地域包括ケアの体制を開始しております。地域包括ケア病棟では、急性期医療を終了後、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者様へのリハビリテーション、在宅療養されている患者様のご家族を支援するための一時的なレスパイト入院の受け入れなどを行っています。

今後、更なる地域医療機関、福祉関係機関との連携を図り、地域医療を支える病院としての役割を果たすべく、スタッフ一丸となって取り組んで参ります。

末筆ながら、会員の皆様の更なるご活躍をお祈りいたします。



私のおすすめ

医療法人 玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル
理学療法士 高田橋 翼

今回、紹介する書籍は、『わたしのからだをさがして ～リハビリテーションでみつけたこと～』です。

「びっくりした。手が消えたようで怖い」これは今回私が紹介させていただく書籍の中の一部を抜粋したものです。幼い頃に脳梗塞を発症し左片麻痺となった小川奈々さんとセラピストの中里瑠美子さんの認知運動療法によるリハビリの記録を往復書簡で綴った内容の本となっています。

私たちセラピストは片麻痺の患者様のリハビリを行う際、ステージ、感覚障害、立位姿勢、歩容などあらゆる観点から分析し治療を行います。治療によってステージの向上、歩容改善が見られたとしても病前と同じレベルにまで戻すことは中々難しいところがあります。本書籍の作者の1人でもあるセラピストの中里さんも同様の思いがあったところに、認知運動療法に出会ったと記されています。

私もこの書籍を読んで認知運動療法の存在を知り、片麻痺患者様の治療に対する考え方が変わりました。これまでは身体機能の改善ばかりに注力していましたが、体性感覚情報を元に麻痺の改善を図る。「知覚-注意-記憶-判断-言語」による認知過程の活性化が認知運動療法の鍵となり、患者様自身も身体の把握、「からだを探す」事に繋がるのだと感じました。

先生方の中でも認知運動療法をご存じの方も多いとは思われます。そうでない方も是非本書籍を手にとっていただき、認知運動療法のあり方を知っていただければ幸いです。



(<https://www.kyodo-isho.co.jp/book/b10025711.html>)

事務局だより

令和6年9月11日～令和6年10月31日現在受理分

学術誌

- 県薬会報 第189号
- 鹿児島県医師会報 第879号
- 理学療法ジャーナル 第58巻第9号
- 理学療法ジャーナル 第58巻第10号
- 埼玉県理学療法士会50年史
- 鹿児島県医師会報 第880号
- 理学療法ジャーナル 第58巻第11号



ニュース

山梨 No.164 秋田 No.214 熊本 No.146

<会員動向> (9/15～10/15定期承認まで)

入会11件 県内異動7件 転入3件 転出2件 休会7件 退会4件
 会員動向に関する詳細は非公開とします。
 会員数 2,594名 会員所属施設数 462施設

会長行動録

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 9月9日 県地域・職域・学域連携推進委員会 | 10月9日 理事会 |
| 9月9日 県リハビリテーション専門職派遣調整事業打合せ | 10月10日 入会促進活動及び施設訪問
(組織代表帯同) |
| 9月9日 3役会 | 10月12日 臨時九州士会長会議 |
| 9月11日 理事会 | 10月16日 県高野連打ち合わせ |
| 9月21日 訪問リハ研修会 | 10月17日 組織代表後援会説明会 |
| 9月26日 県連盟会議 | 10月19日 JPTA理事会傍聴 |
| 9月30日 JPTA斉藤会長意見交換会 | 10月20日 JPTA組織運営協議会 |
| 10月4日 自民党県連意見交換会 | 10月22日 始良地区会議挨拶 |
| 10月4日 介護フェスティバル祝賀会 | 10月24日 県医医療団体決起集会 |
| 10月5日 介護予防推進リーダー研修 | 10月24日 大隅地区会議挨拶 |
| 10月6日 地域ケア会議推進リーダー研修 | 10月29日 県連盟役員会 |
| 10月7日 3役会 | 10月31日 渉外関連企業打ち合わせ |
| 10月8日 組織代表後援会打ち合わせ | |

編集後記

今年は残暑が長く、最近まで暖かい日が続いていましたが、少し肌寒くなってきました。私は今年キャンプに挑戦しようとしており、秋を楽しんでいます。皆様もこれから寒くなり、体調を崩しやすい時期になりますので、お体に気をつけて季節を楽しんでください。

広報誌に関してご意見等ございましたら、広報部まで連絡をお願いいたします。

rihabiri@gyokusyokai.com

広報部 東 健人